

NOSAI



わかやま

10

2020

no.14

ほっとトピックス



家業のウメ農家を引き継いで17年目を迎える山本さん。今年1月に法人化し、「株式会社ゆずる農園」として新たにスタートを切った。現在は山本さんを含めた6人で730㎡の園地でウメを栽培・加工している。山本さんは「法人化にあたって、社員のことを考えると万が一に備えておくことが必要では」と、収入保険の加入を検討した。

「会社としての目標は経営面積

の拡大」と話す山本さん。「日本一であるウメの産地を守ってきたい」と、後継ぎが無く、栽培を続けられなくなった方の園地や、耕作放棄地等を積極的に借り受け、産地の盛り上げに繋げていきたいと意欲を見せている。



「安定した経営を目指して」

みなべ町

やまもと ゆずる

山本 譲さん

● 借り受けのご連絡はこちらまで
..... 090-7760-7004



表紙のひと

「リピーターを大事に」

岩出市

きた きよひろ

北 記世大さん

ちぐさ

千草さん



「必死にやっつてうまくいかなかったときでも、収入保険で補てんがあると思えば安心して農業に取り組める」と話す、就農して5年目の北記世大さん。大阪出身の記世大さんは、就農前にも妻の千草さんの実家の農作業を手伝っていたが、ほぼ手探り状態でのスタートだったと振り返る。農業大学の研修や周囲の助言を受け、現在は紀の川市桃山町の園地で、モモと施設野菜を栽培している。

農作物は地域の直売所に出荷するほか、自身でも3年前からモモの直売を始めた。知己のデザイナーに依頼し、オリジナルのロゴやパッケージも作成。大々的な宣伝はしないものの、偶然見つけて味を気に入り、リピーターになる顧客もいる。「お客さんの顔を見て、リアルな感想が聞けるのが嬉しい」と千草さんも接客に力が入る。

記世大さんと千草さんは「台風などの被害にあっても経営を守れるように、収入保険のような制度があるのはありがたい」と話し、今後については「今のお客さんを大事にして、クオリティーを下げず丁寧に経営していきたい」と夫婦で口を揃える。



わかやま



「リスクに対して安心感を得られるのは、やる気に繋がります」と語るのは岡本善之さん。25年前に就農し、うんしゅうみかん栽培のほか、「紀州高原ぶどう岡本農園」の名前で観光農園を営んでいる。

昨今の新型コロナウイルスの影響で観光農園の不安も募り、改めて加入して良かったと、笑顔で話す。

「良い作物を作るだけに留まらず、どのようにそれを届け、喜んでもらうか。お客様のニーズに応えるべく、今後も挑戦したい」と意気込みを語る。



「想定外もカバーする安心感」

有田川町

おかもと よしゆき

岡本 善之 さん



「万が一に備える必要がある」

紀美野町

つばい まさゆき

坪井 正幸 さん



紀美野町の坪井正幸さんは、園芸施設と露地でクレソンを周年栽培している。

坪井さんが営農していくうえで一番心配していたのが万が一の事態で収入が激減するリスクだったが、それをカバーできるところに特に魅力を感じているとのこと。

収入保険には今年から加入したが、当初は手続きが大変なのではと思っており、加入を迷っていたそう。それでも「職員の方の熱心な説明を聞いているうちに加入しよう」と決心した。今年も新型コロナウイルスの影響を大きく受けたので、収入保険の存在は大きかった。今では加入しておいて良かったと感じています」と話す。

「収入保険は災害時はもちろんだが、農業者の体調に何かあったときでも補償の対象になり、収入の激減した場合でも対応できる。農家が安定した営農を続けていくためには必要なものだと思います」と語ってくれた。



● 収入保険

収入保険加入者の声と支払実績をご紹介します！

すべての農産物を対象に、自然災害や価格低下等あらゆる収入減少のリスクに対応できるセーフティネットは、**収入保険**だけです。



野菜農家

野菜を長年栽培しているが、自然災害はもちろん、品質や価格の低下、ケガや病気で収穫ができない等の理由で**野菜を出荷・販売できなくても補てんの対象になる**という点に惹かれて収入保険に加入した。**全ての農産物が対象**であるし、青色申告の販売収入で補てん金を査定してくれるので、シンプルで分かりやすい。



果樹農家

台風等の自然災害はもちろん、**自分の病気やケガで収穫できずに収入が下がった**ことがあった。**最近は何が起こるか分からない**ので、収入保険に加入し安心して農業に取り組みたい。また、**つなぎ融資を利用すれば、実質「補てん金の一部先払い」**になるので、**営農資金を確保するのに非常に役立つ**と思う。



果樹農家

何より**価格低下時の収入減少を補てん**してくれるのが嬉しい。例え**収入が下がった**としても、**収穫や作業を手伝ってくれる仲間(従業員)の給与は支払わなければならない**。自然災害はいつ起こるか分からないので、私が営農する限り、収入保険に加入し続けたい。

和歌山県内支払実績

● 多くの収入保険加入者に補てん金をお支払いしました。

支払総額 … 約3億4,300万円 (166件)

果樹農家 …… 約2億1,800万円 (134件)

花農家 …… 約8,000万円 (6件)

野菜農家 …… 約3,400万円 (20件)

米農家・養蜂家等 …… 約1,100万円 (6件)



養蜂家

養蜂業にとって**他に収入を補てんしてくれる保険がない**ので、**万が一のために加入しておくべき**だと思う。

米農家

保険方式は掛捨てになるが、**積立方式は文字どおり自分のお金を積み立てるから掛け捨てにならない点が魅力的**だ。和歌山県だけでなく、**全国的に加入者も増え続けている**ようだし、加入した方が安心だ。



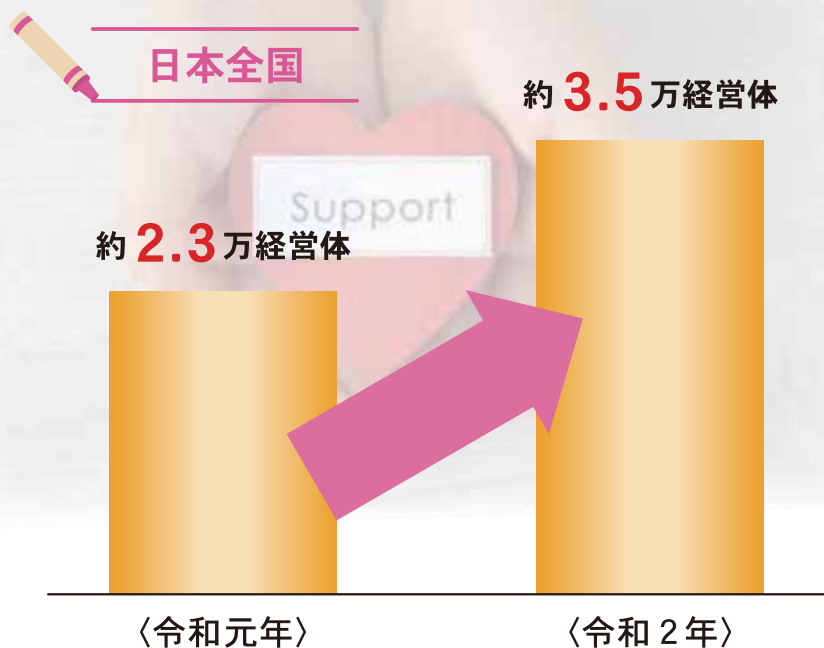
花農家

国の補助制度を受けるためには、収入保険への加入が条件になるケースが増えてきた。収入保険に加入していれば、国の補助制度も受けやすくなると思う。また、**新型コロナウイルスが広がると、その影響で出荷できない日が続く**かもしれない。**収入保険に加入していれば、営農を続けられるという安心感**がある。**園芸施設共済と併せて収入保険に加入し、備えを万全にしたい**。

日本全国で
3.5万人が
加入しています！

●収入保険の増加傾向について

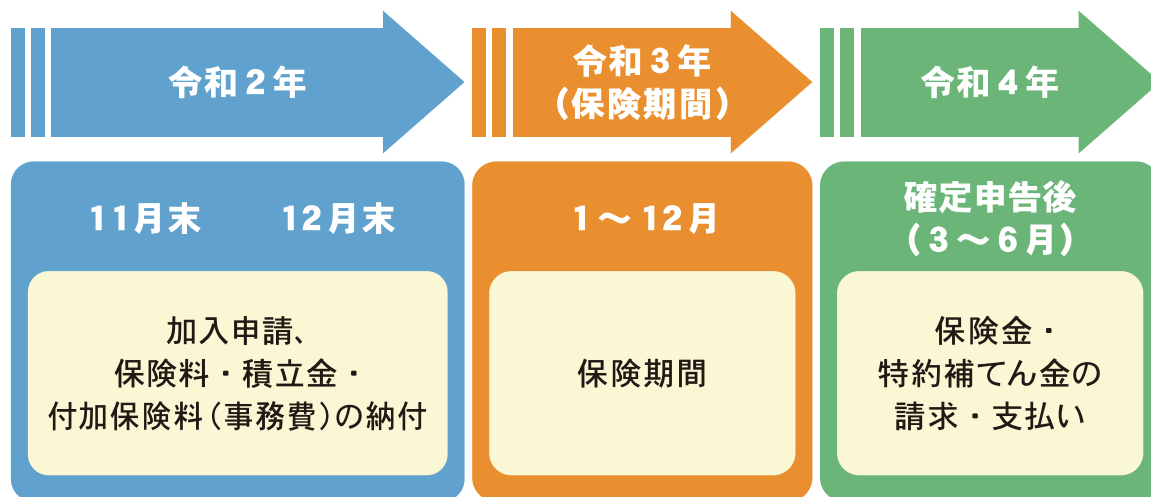
平成31年1月からスタートした収入保険ですが、令和3年1月で3年目に突入します。1年目となる令和元年の日本全国での加入数は約2万3000経営体、2年目となる令和2年は約3万5000経営体と増加傾向にあります。



※ 令和元年：平成31年1月～令和元年12月に加入
 ※ 令和2年：令和2年1月～令和2年12月に加入
 ※ 令和2年の約3.5万経営体は令和2年7月末時点のものです。

収入保険の加入申請受付中です！

個人の農業者の場合、収入保険の保険期間は税の算定期間と同じ1月～12月です。加入申請の締め切りは**令和2年11月末**までです。是非お早目にお問い合わせください！



1月～12月が税の算定期間の場合です。

- 新型コロナウイルスの影響による収入減少も補てんの対象です！
- 収入の減少による営農資金の確保に不安を感じる農業者の方には、「収入保険のつなぎ融資」をおすすめします！
- 和歌山県の収入保険1年目の加入者には、約5割の方に補てん金をお支払いしました！

収入保険の加入者は増えています！

部落差別のない社会の実現を目指して

—『和歌山県部落差別の解消の推進に関する条例』が施行されました—

和歌山県では、県民の皆さんとともに様々な施策に取り組んできた結果、部落差別は解消へと向かっています。しかしながら、今もなお、結婚などに際して同和地区かどうかを問い合わせる行為や、インターネット上に誹謗中傷や同和地区を忌避する書き込みなどの部落差別が発生しています。

このような状況を踏まえ、令和2年3月24日から「和歌山県部落差別の解消の推進に関する条例」を施行し、行政、県民、事業者等が一体となって、部落差別の解消を推進して部落差別のない社会を実現することを目指しています。

和歌山県では、引き続き、部落差別の解消のための教育・啓発や、県民の皆さんからの相談への対応などに取り組んでいきます。

県民の皆さんも、条例の趣旨をご理解いただき、部落差別は許されないものであるといった認識のもと、全ての県民の人権が尊重される豊かな社会を実現しましょう。

同和問題(部落差別)の相談窓口

- 人権ホットライン …… ☎ 073-421-7830
(公財)和歌山県人権啓発センター
- 和歌山県人権政策課 … ☎ 073-441-2563
※各振興局総務県民課でも実施しています。

お問い合わせ先

和歌山県人権政策課
☎ 073-441-2563

農業共済新聞 購読者募集中!

農業共済制度と収入保険制度をはじめ、全国各地の農家さんの記事を多く掲載。

近畿版では地域に密着し、地元の農業を盛り立てる農家さんを取り上げています。

ご購入の申し込みはお近くのNOSA I 事務所まで。

(事務作業の都合上、お申し込みの翌月からのご購読となります。)



● 購読料 ▶▶▶ 年額 5,520 円
(月4回発行)

令和3年度

和歌山県農林大学校農学部学生募集!

和歌山県の農業に活力を与え、地域リーダーとして活躍できる人材を育成する農林大学校。令和3年度の農学部の入學試験を下記のとおり行います。

試験	一般入学試験(前期)	一般入学試験(後期) ※ 一般入学試験(前期)で定員を満たした場合は実施しません。
募集人員	園芸学科… 30名	アグリビジネス学科… 10名
修業期間	2年	
受験資格	高等学校を卒業、または令和3年3月までに高等学校を卒業見込みの者 (詳細は下記まで問い合わせて下さい)	
出願期間	令和2年11月19日(木)~11月26日(木)	令和3年2月10日(水)~2月18日(木)
試験日	令和2年12月8日(火)	令和3年3月3日(水)
試験場所	農林大学校 農学部	



● 問い合わせ先 … 和歌山県農林大学校農学部

〒649-7112

和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降 422

TEL: 0736-22-2203 FAX: 0736-22-7402

▼▼ ホームページアドレス ▼▼

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/nourindaigaku/index.html>

(募集要項はホームページからダウンロードできます)

秋の農作業安全確認運動 実施中!

毎年発生し続けている農作業事故。

とくに、農機具を扱う機会が多くなる秋は事故の発生数も大幅に増加します。

- 声のかけあい
- 周囲や機械の安全確認
- 無理をしないこと



などを心掛けて農作業事故0を目指しましょう!



応募方法

63円 〒640-8331

和歌山県 JAビル 1の5階1
NOSAIわかやま
広報紙クイズ係

和歌山市美園町5丁目

- ① クイズの答え
- ② 郵便番号・住所
- ③ 氏名・年齢
- ④ 電話番号
- ⑤ 広報紙の感想、NOSAIへのご要望など

					5	8	
		8	6	(B)	5		9
(A)	2			8	9	(C)	4
	1			5		8	4
		4	7		1	2	
	3	6		4			1
6			3	1			5
4			5		6	9	
(D)	5	3					(E)



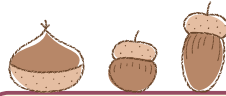
①～⑤の数字を入れてね。



ルール

- ◆ 1マスに1～9の数字の内、1つ入ります。
- ◆ どのタテ列にも同じ数字は入りません。
- ◆ どのヨコ列にも同じ数字は入りません。
- ◆ 太線で区切られたどの3×3ブロックにも同じ数字は入りません。

3	8	9	5	4	7	1	2	6
1	6	7	3	9	2	8	(B)	4
4	(A)	5	8	1	6	7	9	3
8	4	3	6	2	5	9	7	1
9	7	2	1	8	4	3	6	5
5	1	6	9	7	3	2	(C)	8
6	9	4	2	3	8	5	1	7
2	5	(D)	7	6	1	4	3	9
7	3	1	4	5	(E)	6	8	2



8月号のナンプレの答えは



でした！



応募締切

・令和2年11月30日(月)(当日消印有効)

安心のネットワーク NOSAIわかやま 和歌山県農業共済組合

本所 〒640-8331 和歌山市美園町5-1-1 TEL…073-436-0771
和歌山県JAビル5階 FAX…073-425-6380
Email…info@nosai-wakayama.or.jp

和歌山事務所 (事業部地域課) 〒640-8341 和歌山市黒田2-1 TEL…073-471-1983 FAX…073-471-1535

北部支所 〒649-6531 紀の川市粉河681-2 TEL…0736-73-6724 FAX…0736-73-7031

中部支所 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1696-3 TEL…0737-63-5121 FAX…0737-63-5733

南部支所 〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-10 TEL…0739-22-0833 FAX…0739-22-1044

URL: <http://www.nosai-wakayama.or.jp/>



QRコードからも
アクセスできます！

